

うっしっしいー情報2021

11月市



豊岡農業改良普及センター

11月10日に行われましたセリ市全体の平均価格は、去勢が91万2千円、雌が90万7千円でした。

普及センター調べ（税込価格）
（雄を除くため、JA公表数値とは異なります）

地域	去勢			雌			総計	
	頭数	DG	平均価格	頭数	DG	平均価格	頭数	平均価格
赤佐	4	1.001	900,075	2	0.811	735,900	6	845,350
丹波篠山	3	0.944	932,067	1	0.833	867,900	4	916,025
丹波	16	0.951	860,750	7	0.778	758,371	23	829,591
朝来	7	1.025	942,229	6	0.885	880,183	13	913,592
播磨	16	0.932	897,394	7	0.858	855,329	23	884,591
美方郡	56	0.987	909,661	47	0.866	999,853	103	950,817
豊岡	15	1.029	905,667	14	0.839	881,100	29	893,807
養父	34	0.978	943,671	23	0.841	860,583	57	910,144
摂津・神戸	7	0.955	957,157	7	0.819	849,986	14	903,571
県北C	5	0.922	850,080	3	0.760	708,400	8	796,950
市場全体	163	0.978	912,170	117	0.846	906,955	280	909,991

11月市種雄牛ランキング

順位	種雄牛	去勢			雌			総計	
		頭数	平均DG	平均価格	頭数	平均DG	平均価格	頭数	平均価格
1	山伸土井	5	0.997	916,520	6	0.851	1,186,167	11	1,063,600
2	丸若土井	23	0.987	977,948	12	0.844	928,308	35	960,929
3	忠味土井	18	0.971	950,767	13	0.843	916,808	31	936,526
4	芳悠土井	16	0.996	918,844	15	0.905	925,467	31	922,048
	総計	163	0.978	912,170	117	0.846	906,955	280	909,991
5	照忠土井	9	0.987	874,256	6	0.836	957,367	15	907,500
6	藤彦土井	24	0.998	944,625	17	0.845	853,406	41	906,802
7	照和土井	31	0.969	885,074	11	0.874	890,000	42	886,364
8	丸池土井	8	0.915	852,363	9	0.815	832,333	17	841,759
9	宮菊城	4	1.022	871,750	7	0.858	819,814	11	838,700

価格は税込み (10頭以上の出荷があった種雄牛のみ記載)

ランキング種雄牛の育種価

	種雄牛	枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	皮下脂肪厚	歩留	脂肪交雑
1	山伸土井	A+ → A	A++	C	A+	A++ → A+	A++ → A+
2	丸若土井	B → A	A++	A++	A	A++	A++
3	忠味土井	B	A+	A	A	A+	A++
4	芳悠土井	A	B	B	B	B	A++
5	照忠土井	B	A++	A	A+	A++	A
6	藤彦土井	A++	A++	A	D	C	A++ → A+
7	照和土井	A+	A+	C	B	A	A+
8	丸池土井	C → D	A+++	D	B	A++	A+++ → A++
9	宮菊城	A	A+	A++	A	A+	A

北部農業技術センター提供 (育種価評価は令和03年8月現在)

モ～寒くない！子牛の防寒について

はじめに

11月半ばに入り、まもなく冬の厳しい寒さが到来します。気象庁によると、近畿地方全体で今年の冬は例年より寒いと予想されており、ヒトだけでなく、ウシにとっても厳しい冬になると考えられます。特に子牛は寒さに弱く、冬には体調を崩すことが多くなり、発育の停滞や獣医さんにお世話になる回数が増えるため、寒さ対策が必要不可欠となります。今のうちに寒さ対策の準備に取り組みましょう。

・子牛にとって過ごしやすい温度は？

肉用牛のほ乳子牛と母牛における「適温域（牛にとって好ましい）」と「生産環境限界温度（この温度より低いと牛の活動に影響が出る温度）」には差があります。ほ乳子牛は母牛よりも生産環境限界温度の下限が高く、いかに寒さに弱いのが分かります（表1）。

兵庫県下でも早いところでは**11月下旬から**生産環境限界温度である5℃を下回る時期がやってきます（表2）。健全な子牛の育成のためにも、今のうちから防寒対策を始めましょう。

・なぜ、ほ乳子牛は寒さに弱いのか

ほ乳子牛が寒さに弱いのは以下の理由が挙げられます。

1 成牛に比べて皮下脂肪が少ない

皮下脂肪は断熱性が高く、防寒着のようなものであり、体内の熱を外へ逃がさない役割を持ちます。ほ乳子牛の皮下脂肪は成牛に比べて少ないため、熱が体内から外へ逃げやすくなります。

2 第一胃が未発達である

成牛の第一胃は無数の微生物が住み着く発酵タンクになっており、微生物の発酵により発生した熱は、体温維持に利用されています。例えば、体内にカイロを持っているようなものです。しかし、ほ乳子牛は第一胃が未発達であり、発酵熱の発生が少ないため、体温維持が難しくなります。

3 体重が小さい割に、体表面積が大きい

子牛は熱の発生源となる体の大きさに比べて、熱が逃げる部分（体表）が大きいため、体温を維持することが困難となります。

・寒さを乗り切るポイント

子牛の寒さ対策には、以下の3つを組み合わせることが重要となります。

1 保温

カーフジャケットやネックウォーマーといった防寒着、畜産用ヒーターによって保温するほか、ゴムマットやバスマットなどを牛床に敷くことで床冷えを防ぐことができます。

ただし、カーフジャケットやネックウォーマーについては、濡れた状態で使用すると逆効果になるので、十分に乾いた状態で利用してください。

2 乾燥

牛体が濡れていると気化熱によって体温が下がります。私たち人間が風呂やプールから上がって濡れたままだと寒くなるのと同じ原理です。特にお腹が濡れて、冷えると下痢の原因になることがあります。ふん尿で汚れた敷料をできるだけ早く交換するとともに、敷料を十分に投入することで乾燥した牛床を保ちましょう（写真1）。

3 防風

冬の冷たいすきま風は、子牛の体温を奪います。コンパネやビニールシートなどで風を遮り、牛体に当たらないようにしてください。ただし、牛舎を密閉することは避けましょう。

・冬だからこそ、換気を心がけましょう

上項で防風することの重要性をお伝えしましたが、牛舎を密閉するとふん尿から発生するアンモニアガスやほこりなどにより呼吸器病の原因となります。すきま風を防ぎつつ、比較的暖かい日中を狙って適度に換気することで、淀んだ空気を追い出し、子牛にとって、そしてヒトにとって過ごしやすい牛舎環境を作りましょう（写真2）。

表1 肉用牛の適温域と生産環境限界温度

	適温域(℃)	生産環境限界温度(℃)	
		低温	高温
ほ乳子牛	13～25	5	32
母牛	10～15	-10	30

引用：鹿児島県【畜産】肉用牛の防暑・防寒対策（大隅地域）
http://www.pref.kagoshima.jp/ao08/chiki/osumi/sangyo/nougyu/gijutsu/chikusan_nikuyougyu_bousyo_boukan.html

表2 最低気温が5℃を下回った時期（1991年～2020年）

香住	12月上旬～4月下旬
豊岡	12月中旬～3月中旬
和田山	11月下旬～4月下旬
柏原	11月下旬～3月上旬
姫路	12月上旬～3月下旬



写真1 乾燥した敷料を十分に！



写真2 冬でも換気を忘れずに！

まとめ

寒さ対策では、子牛の保温、乾燥した牛床、すきま風防止といった対策を組み合わせるとともに、**十分に換気することが重要**となります。適切な寒さ対策を行い、子牛にとって厳しい季節である冬を乗り越えましょう。